

圏外のアンテナ

[うつくしま、フォーエバー]の巻

仕事の資料がどんどん増える。いつのまにか保管用の倉庫まで満杯になってしまった。

このままでは増殖するばかりである。そこで、いま流行りの「ダンシャリ」をすることに決め、先月末、現在より小さなコンテナ倉庫に引っ越しをした。

「本」と書いてある段ボールは、そのまま閉じて古本屋へ。

「仕事の資料」という段ボールは、ひとつずつ、中身を確認する。

とそこに「福島県」と書かれた箱がある。あぁ～、10年以上前の資料だ。「うつくしま、ふくしま」の次代のスローガンを決める競合コンペに、あるチームのコピーライターとして参加して負けたのだった。

パラパラと古いノートをめくると「うつくしま、ふくしま。アゲイン」。次のページには「うつくしま、フォーエバー」とある。

うへ～、今までのスローガンの尻馬に乗ったコバンザメ的コピーばかり。これでは競合コンペでは弱いだろう。

満開の桜も、なんのその。それから丸2日かけて、いままでの倉庫を空っぽにした。

深夜、ガラーンとした床を見回すと、どこかから忍び込んだ桜の花びらが数枚！

故郷の桜はこれからが本番だろう。

子供の頃は、ニュースを見て「東京はもう満開だって！」と、悔しがったものだ。

でも、遅れてやって来る桜の方が、ほんとうは、ずっと美しい。

待ち焦がれる贅沢な時間を、くれるからである。

=2013年4月9日掲載=



桜の広告ステッカーで飾られた山手線